

東京電力ホールディングス(株)福島第一原子力発電所  
2018年度 パフォーマンス向上会議情報(2018年8月23日(木)分)

◆不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

2018年8月23日のパフォーマンス向上会議で審議された不適合は、下記のとおりです。

番号	不適合内容	グレード
1	<p>【共用プール建屋における漏えい検出警報の誤発生について】 共用プール建屋地下1階の共用プール(A)電気室の漏えい検出警報が発生。 原因は、漏えい検出器近傍で行っていた足場組立作業での区画材ベース(金属製)が漏えい検出器電極部に接触したことにより、検出器が動作し、警報が発生したものと推定。</p>	GⅢ
2	<p>【乾式キャスク仮保管設備における乾式キャスク(3B)の蓋間圧力計※の指示値変動について】 乾式キャスク仮保管設備に保管中の乾式キャスク(3B)の蓋間圧力計2台のうち1台に圧力指示値の変動を確認。 当該圧力計の信号ケーブル端子の再結線により、圧力指示値は正常値に復帰。 原因は、ケーブル端子緩みによるものと推定。 ※蓋間圧力計:キャスクの密封機能を監視するための圧力計</p>	GⅢ
3	<p>【覆土式保管エリア沈砂池の分析値誤りについて】 発電所敷地内の雨水排水モニタリング状況(放射能分析結果)を纏めていた際、覆土式保管エリア沈砂池の分析値(トリチウム濃度)が他地点と比べ高い値で報告されていたことを確認。 分析時に試料を取り違えていたため、分析値に誤りがあったことを確認。</p>	GⅢ